

2016年6月8日

東日本旅客鉄道株式会社

「JR 東日本 2020Project」が始動します！

～東京 2020 大会の成功と、その先のレガシーへ～

JR 東日本では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」）のオフィシャルパートナーの一員となったことを踏まえ、JR 東日本が果たすべき役割を「JR 東日本 2020Project」として取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

1 JR 東日本 2020Project

基本方針

- JR 東日本は、東京 2020 オフィシャル旅客鉄道輸送サービスパートナーとして東京 2020 大会成功への貢献をめざします。
- 当社グループは、東日本地域を事業エリアとする企業として、円滑な大会運営の支援と大会開催に向けた気運を高める取組みを進めていきます。
- そして、この取組みが 2020 年以降も地域社会に持続的な効果をもたらす「レガシー」となるよう努めていきます。

2 JR 東日本 2020Project の取組みの柱

取組みの柱 I 東京 2020 大会運営の支援に向けて

(1) 安全・安心で、バリアフリーに配慮した鉄道インフラの提供

- ① 東京 2020 大会期間中、多くのお客さまのご利用が見込まれる競技会場周辺の駅や乗換駅等で、ホームやコンコースの拡幅、バリアフリー設備の拡充等を推進します。

※現在の計画については、プレスリリース「[駅改良の工事計画について](#)」をご参照ください。

- ② お客さまの安全の確保を第一に、関係諸機関との連携を強化して鉄道におけるテロ等の防止対策を推進します。

(2) スムーズにご利用いただくための情報提供と快適な旅客鉄道輸送サービスの提供

- ① 競技日程等を踏まえ、ご利用の増加が想定される場合には、他の交通事業者と連携して適切な輸送力の確保に努めるほか、混雑が予想される駅等でのご案内を強化します。
- ② 増え続ける海外からのお客さまにも快適にご利用いただけるよう、駅や車両での多言語による情報提供を中心としたサービス向上に取り組めます。

【実施する主な取組み】

- 「駅ナンバリング」の実施
- 駅名標への4カ国語表記の実施
- 多言語による情報提供の強化
- 訪日外国人向け無料公衆無線LANサービスの拡大 など



駅ナンバリングとホーム駅名標の4カ国語表記の例

取組みの柱Ⅱ 東京 2020 大会開催気運の醸成をめざして

(1) 被災地(東北)の復興に向けた観光流動活性化

被災地の復興への貢献をめざし、旅客鉄道輸送サービスを通じて様々なかたちで東北の魅力を発信するとともに、海外から訪れるお客さまも含め、より多くのお客さまに東北を訪れていただける取組みを進めます。

【実施する主な取組み】

- 「行くぜ、東北。」キャンペーンの継続
- 東北観光推進機構、日本政府観光局(JNTO)、自治体等と連携した取組みの推進

(2) 関連イベント等による東日本エリアの地域活性化

東日本を中心とする当社エリアで開催される関連イベント等を通じ、地域活性化を支援します。

【実施する主な取組み】

- 「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」と連携した地域活性化
- 東京 2020 大会関連イベント、文化プログラム等への参画・協力

(3) ターミナル駅改良による東京圏の魅力向上

- ① 2020年に暫定開業する品川～田町間の新駅周辺で、東京2020大会の開催気運を高める取組みを検討します。
- ② 東京2020大会開催を見据え、新宿・横浜・東京・渋谷などの大規模ターミナル駅において、駅改良をはじめとした様々な取組みを推進します。

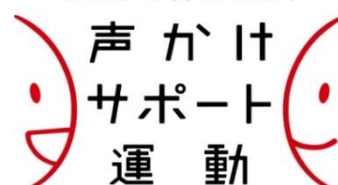


新駅予定地

(4) 東京2020パラリンピックを契機としたダイバーシティの更なる推進

- ① お客さまに社員がお声かけをする「声かけ・サポート運動」を継続します。
- ② 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会オフィシャルパートナーとして、競技体験研修の継続や社内啓発など、障がい者スポーツの普及を支援する取組みを進めます。
- ③ 性別、国籍、障がいなど相互に多様性を認め合い、連携して挑戦できる企業風土改革を推進します。

みんなで支えあおう



声かけ・サポート運動ロゴマーク

(5) スポーツチームの活動を通じた地域社会への継続的な貢献

企業内スポーツチームである硬式野球部・女子柔道部・ランニングチーム・バスケットボールチーム及びプロサッカーチームの「ジェフユナイテッド市原・千葉」の活動を通じ、引き続き地域のスポーツ振興に努めます。



スポーツ教室の開催

「JR 東日本 2020Project」の取組みで期待される「レガシー」

- ◇ 安全・安心で、どなたにもご利用いただける鉄道のバリアフリー化
- ◇ 旅客鉄道輸送サービスをスムーズで快適にご利用いただくための多言語化等、シームレスなご案内
- ◇ 被災地(東北)への誘客による観光流動活性化
- ◇ 東日本エリアでの関連イベントへの協力、地産品を活用した地域活性化
- ◇ 品川新駅を中心とした日本の魅力発信とその後の交流拠点形成
- ◇ 障がいのある社員や外国籍の社員が一層活躍できる企業風土
- ◇ 企業スポーツ・プロスポーツチームを通じた地域貢献



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)